

振興会だより

北海道千歳高等支援学校

進路指導・卒後支援振興会事務局

今年度の発行は3回を予定しております。今回は、会長挨拶や総会等の内容をお知らせします。

◇頑張る気持ちをもち乗り越えて◇

校長 竹 内 哲



新型コロナウイルスの感染拡大が全国的に終息の兆しが見えず、むしろ拡大が進んでいる地域もあります。北海道においてもクラスターの発生も報告され、予断を許さない状況が続いています。

そのような中、卒業生の方においてもその影響を受けられている方が多くいるのではないかと危惧しています。仕事量が減ったために自宅待機や勤務時間が縮減されたことによる経済的不利益を受けている方もいることでしょう。

道内の経済状況も業種によっては大きな打撃を受けており、企業の倒産や規模縮小による解雇などの問題が出てきています。卒業生の進路先においても、経営の厳しい企業があるようです。今後、感染拡大が早くに収束し、経済活動が以前のように活性化することを願うばかりです。

本校の様子についてお知らせします。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、4月途中から5月いっぱいとは臨時休校が続きました。これほど長期にわたる休校は今まで経験をしたことがありませんでした。かつ、いつまで休校が継続されるのかわからない状況だったために、生徒の皆さんには大きな不安を与えてしまいました。6月からは授業を再開できたのですが、感染防止策をとるために短縮授業、新しい生活様式を取った上での授業となり、それまでとは違った学校生活になったため、慣れるのに時間がかかった生徒もいたようです。

また、活動内容でも市街地や校外の人が多く集まる場での活動の中止、1年生の宿泊研修の中止、学校祭の規模の縮小等、様々な変更を余儀なくされました。また、進路に関わる学習や現場実習にもスケジュールの変更等の影響が出ています。

新型コロナウイルスに対する怒りにも近い気持ちを抱かずにはいられないところではありますが、この困

難な時だからこそ、「自分でも頑張る、周りの人たちと協力して頑張る」気持ちをしっかり持って卒業生の皆さんも乗り越えていってほしいと思います。

◇心の拠り所◇

会長 上野 美奈

四年前の春、期待や不安、様々な気持ちを抱えながら入学しました。始発に乗り、一時間かかる通学を三年間続けられるのか心配でしたが、この春卒業を迎えるまでしっかりやり遂げる事が出来ました。

四月からも千歳に勤務・通勤していますが、朝から夜遅くまで拘束時間が長い中、会社・職場の皆様にも恵まれ、楽しくやりがいを感じながら頑張っています。

これも先生方の熱心な進路指導と現場実習の経験が卒後の自立に繋がっていると思います。私自身、在学中の三年間、PTA役員を務めさせていただきました。その中でクローバーの会が卒業生や卒業生の保護者にとって心の拠り所となっていることを知りました。卒後も子ども達にとって学校との繋がりがとても大切だと感じています。幸いにコロナウイルスの影響もなく仕事に従事していますが、皆様方のおかげとしては、コロナ禍で多くの規制などで不便ではあると思いますが、体調管理には十分お気を付けください。



今後も卒後支援クローバーの会へのご支援をよろしくお願い致します。

◇令和元年度 進路指導・卒後支援振興会総会報告◇

今年度は6月18日付けで事務局から会員の方々に総会資料を送付し、委任状とともにご意見をいただきました。

総会次第につきましては、次のとおりです。

- 1 平成31年度 事業報告について
- 2 平成31年度 会計決算報告について

- 3 平成31年度 監査報告について
- 4 令和2年度 進路指導・卒後振興会事業計画(案)について
- 5 令和2年度 進路指導・卒後振興会会計予算(案)について
- 6 令和2年度 進路指導・卒後支援振興会役員(案)

各案件につきまして、質問・意見も特になく、紙面にて会員の総意で承認されました。

◇今後の行事◇

今年度の学校祭は11月6日の開催となり、生徒のみの実施となります。コロナウイルスを考慮して、保護者や卒業生等の来校は控えていただくかたちとなります。御理解と御協力をお願いいたします。

同窓会行事について、令和3年1月9日を予定しております。コロナウイルスの感染防止のため、例年とは異なる内容となります。詳細につきましては、先日郵送された案内をご覧ください。卒業生の皆様との繋がりをつくるため、是非ご参加ください。

職場での悩みや相談ごとなどありましたら、進路担当までお電話ください。

